

令和6年度 第2回 学校運営協議会（記録抜粋）

- 1 日 時 令和6年7月18日（木）10:00～12:00
- 2 会 場 浜松みをつくし特別支援学校 会議室
- 3 出席者 学校運営協議委員 7人 学校関係者 9人

今回は、コミュニティスクールプロジェクトの進捗状況について地域連携課長、各部主事から報告を行いました。本校の教育活動に協力していただける地域の人材、施設、事業所を「みをつくしサポーター」として任命し、子供たちと地域が共に成長していくプロジェクトが始まりました。この日も、小学部の児童が開いた手作り楽器コンサートをサポーターの方々が見に来てくださいました。その様子とともに、以下に内容を一部抜粋してお伝えします。

ア コミュニティスクールプロジェクトの進捗状況

- ・地域の小中学校、高等学校、大学や駅構内、商店街などにサポーター募集のポスターを掲示。現在、10人の登録がある。
- ・今までに協力いただいた授業実践

手作り楽器音楽発表会の参観（生活単元学習）、ガーデニングクラブ手伝い（学級活動）、花の会の方々と地域の花壇の植え替え作業（作業学習）

- ・各学部からのサポート内容の要望一覧の提示

近隣への校外学習の見守り、楽器演奏・歌唱・ダンス指導、演劇指導、地元の神社について教えてほしい、野菜や花の水彩画や水墨画の指導、キャリア教育指導（事業所や企業、卒業生から話を聞きたい）、食育学習への情報提供、作業製品の開発協力・販路拡大・技術協力及び助言、職場実習への協力企業の拡大

イ 各学部の取組について ※今回は、小学部の様子を紹介します。

校外学習で楽器博物館に行き、楽器や音楽に関する学習をした小学部5年生が、生活単元学習の時間に手作り楽器を作り、コンサートを開きました。約40人の「みをつくしサポーター」の皆さんが来校し、一緒にコンサートを盛り上げてくださいました。



ウ 地域を巻き込んだ教育活動の新たな方策について

- ・大学祭で子供たちの絵や作品を展示する。
- ・地域の幼稚園や小学校で活用した外部人材の方を紹介してもらう。
- ・天竜浜名湖鉄道と協働し、列車から見える景色やラッピング電車について教えてもらう。
- ・地域の民話などの文化に触れる活動をするのもよい。